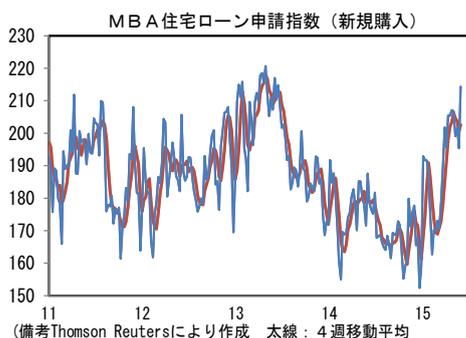
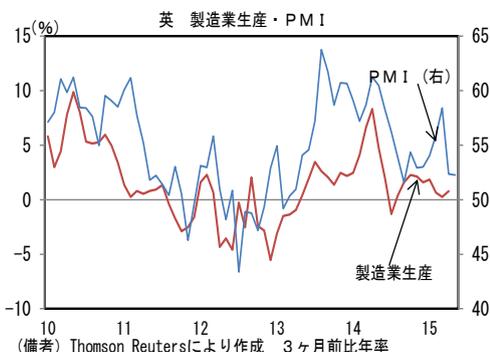
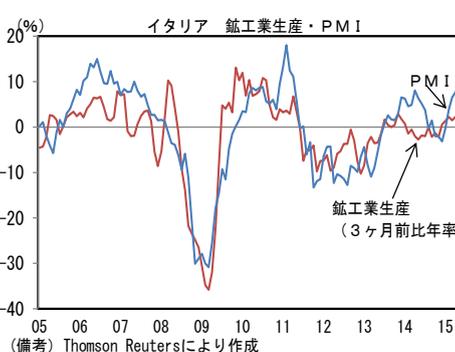
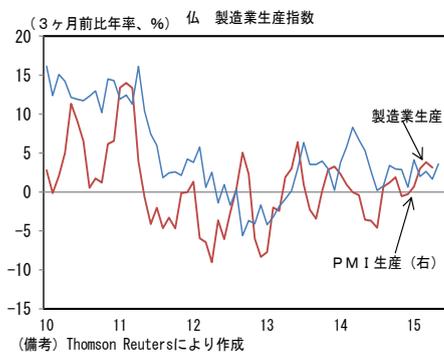


【海外経済指標他】～住宅ローンに駆け込み発生？～

・MBAモーゲージ申請指数(新規購入)は前週比+9.7%と大幅反発。4週移動平均も+0.9%と4週間ぶりに反発。同指数は5月に上昇が一旦、住宅販売の好調持続に疑問を投げかけていたが、今回の結果はそうした懸念を一部払拭した。足もとのモーゲージ金利が反転上昇が駆け込み需要を誘発した側面もあろう。



- ・4月フランス鉱工業生産は前月比▲0.9%と市場予想(+0.4%)に反して減産。前月分が上方修正(▲0.3%→+0.0%)されたとはいえ、3ヶ月前比年率でみたモメンタムは+3.7%と3月(+6.6%)から減速。製造業生産も前月比▲1.0%と弱かった。しかしながら、5月PMIの力強い改善に鑑みると生産は5月に勢いを取り戻したとみられ、5月の生産統計では大幅な反発が期待される。
- ・4月イタリア鉱工業生産は前月比▲0.3%と3ヶ月ぶりに減産。ただしフランスと同様にPMIは5月に力強く改善している。5月生産統計は反発が期待される。
- ・4月英鉱工業生産は前月比+0.4%と増産も、製造業生産は▲0.4%の減産。製造業PMIは4月に急低下した後、5月の反発も限定的だった。5月生産統計も精彩を欠くだろう。



【海外株式市場・外国為替相場・債券市場】

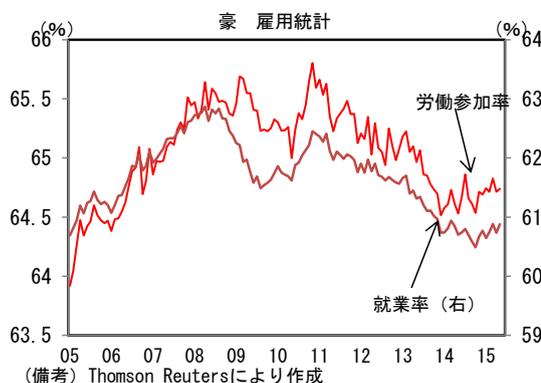
- ・前日の米国株は反発。ドル高一服が好感された。欧州株も強く反発。独DAXは2.4%のラリー。
- ・前日のG10通貨はUSDの弱さが目立った。USD/JPY下落が主要通貨全般に対するUSD売りを誘発。黒田総裁発言の真意は不明だが、G7会合の直後ということもあって円安牽制と捉えられ易かったのだろう。
- ・米10年金利は+4.5bpの2.484%。主要な経済指標や要人発言がないなかでブズ債の下落に追随。独10年

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

金利は0.961% (+3.1bp) で引け。一時1%を上回る場面もあった。

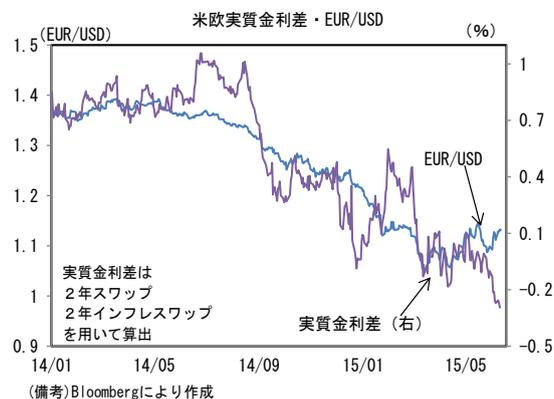
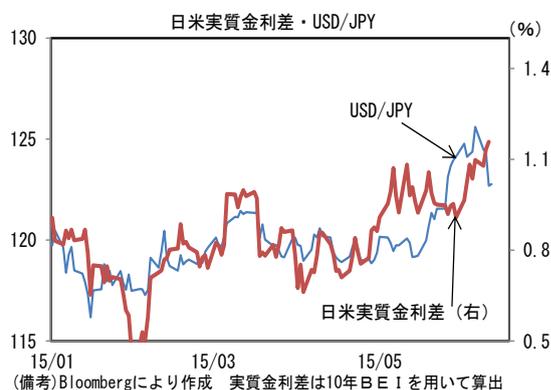
## 【国内株式市場・経済指標他】～豪雇用統計：量的改善が続く～

- ・日本株は欧米株ラリーに追随して高寄り後、上げ幅拡大。
- ・5月豪雇用統計で雇用者数は前月比+4.2万人と市場予想(+1.5万人)を上回った。非常勤雇用者(+2.73万人)が牽引役だが、正規雇用者(+1.47万人)もまざまざの伸び。失業率は0.1%pt低下して6.0%。労働参加率は64.7%と下方修正された前月から横ばいも、就業率(60.7%→60.9%)は上昇した。雇用の質的改善は遅々としているが、量的回復は順調。総じて見れば労働市場の回復ペースは強まっている。
- ・RBNZ(NZ)、BOK(韓国)はそれぞれ25bpの利下げを決定。前者は乳製品価格の急落、後者はMERSの感染拡大が同国経済にもたらす負のインパクトに対処した格好。



## 【注目点】

- ・足もとではECBトレードの巻き戻しによってUSD売りが膨らみ、それがUSD/JPY下落の一因になっているが、そうしたなかで注目すべきは影に隠れてUSD高圧力が高まっているということ。日・欧の期待インフレ率が顕著に上向く一方で米国のそれは鈍く、日米欧の名目金利が上昇するなか、相対的に米実質金利が上昇。期待インフレ率データの制約上、USD/JPY、EUR/USDで同一比較はできないものの、実質金利差でみると何れもUSD上昇を支持する方向に動いている。ドラギ総裁の金利上昇容認発言に、オバマ大統領のドル高牽制発言、黒田総裁の円安牽制(後二者について発言の真意は不明)が続き、足元ではUSD売りに拍車がかかった。しかしながらECBトレードの巻き戻しが一巡し、市場のセンチメントが安定すれば、いずれはコンセンサストレード(USD/JPY上昇、EUR/USD下落)が復活するはず。筆者の年末予想USD/JPY130、EUR/USD0.97に変更はない。



<主要株価指数>

	終値	前日比
日経平均※	20335.16	288.80
N Y ダウ	18,000.40	236.36
D A X (独)	11,265.39	264.10
FTSE100 (英)	6,830.27	76.47
CAC40(仏)	4,934.91	84.69

<外国為替>※

USD/JPY	123.10	0.41
EUR/USD	1.1295	-0.00

<長期金利>※

日本	0.546 %	0.035 %
米国	2.484 %	0.045 %
英国	2.128 %	0.030 %
ドイツ	0.981 %	0.031 %
フランス	1.313 %	0.034 %
イタリア	2.247 %	-0.042 %
スペイン	2.239 %	-0.036 %

<商品>

N Y 原油	61.43 <sup>ドル</sup>	1.29 <sup>ドル</sup>
N Y 金	1186.10 <sup>ドル</sup>	8.80 <sup>ドル</sup>

※は右上記載時刻における直近値。図中の点線は前日終値。

(出所) Bloomberg

